



2022年2月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年9月28日

上場会社名 スギホールディングス株式会社
 コード番号 7649 URL <https://www.sugi-hd.co.jp/>

上場取引所 東名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉浦 克典

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 笠井 真

TEL 0562-45-2744

四半期報告書提出予定日 2021年10月14日

配当支払開始予定日

2021年11月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年2月期第2四半期の連結業績(2021年3月1日～2021年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第2四半期	314,955	4.0	16,131	13.6	16,678	13.1	9,836	21.7
2021年2月期第2四半期	302,766	14.8	18,675	25.3	19,193	22.5	12,555	20.0

(注) 包括利益 2022年2月期第2四半期 9,178百万円 (34.0%) 2021年2月期第2四半期 13,907百万円 (31.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第2四半期	159.14	
2021年2月期第2四半期	203.11	

(注) 2022年2月期第1四半期において表示方法の変更を行ったため、2021年2月期第2四半期の連結経営成績(累計)の売上高及び営業利益は、当該表示方法の変更を反映した組替後の数値及び対前年同四半期増減率を記載しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年2月期第2四半期	329,878	207,334	62.9	3,354.19
2021年2月期	345,933	200,629	58.0	3,245.71

(参考) 自己資本 2022年2月期第2四半期 207,334百万円 2021年2月期 200,629百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期		40.00		40.00	80.00
2022年2月期		40.00			
2022年2月期(予想)				40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年2月期の連結業績予想(2021年3月1日～2022年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	650,300	7.9	34,300	0.8	35,500	0.5	22,000	4.2	355.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年2月期2Q	63,330,838 株	2021年2月期	63,330,838 株
期末自己株式数	2022年2月期2Q	1,517,333 株	2021年2月期	1,517,115 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年2月期2Q	61,813,584 株	2021年2月期2Q	61,813,861 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2021年3月1日～2021年8月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大に伴い、個人消費の低迷や企業活動の制限が続いております。ワクチン接種などの対策は進みつつありますが、緊急事態宣言の再発出やまん延防止等重点措置の適用地域が拡大されるなど、依然として新型コロナウイルス感染症が収束に向かう兆しは見受けられず、先行きの不透明な状況が続いております。

ドラッグストア業界におきましては、薬価改定の影響による処方箋単価の下落、前年同時期に発生した衛生用品を中心とする急激な需要拡大に対する反動減、異業種および同業種との競争の更なる激化などにより経営環境の厳しさは増すものの、処方箋調剤は引き続き成長が続いております。

このような環境のもと、当社グループは、調剤領域において、新規開局を進めるとともに、物販顧客に対する店頭やアプリでの告知強化による調剤併用率の向上、調剤室や待合室の拡張改装の推進による調剤事業の更なる拡大と生産性の改善などに取り組みました。

物販領域においては、健全な店舗ポートフォリオの構築・維持を目的とした既存店舗の改装、お取引先様との情報連携強化を通じた製・配・販一体でのサプライチェーン全体の最適化、One・to・One販促の実現に向けた「デジタルCRM基盤」の構築、人員配置および労働時間の適正化などに取り組みました。

サステナビリティ経営においては、サステナビリティ委員会を設置し、長期的なリスクと機会を評価したうえで重要課題(マテリアリティ)を設定し、様々な取り組みを強化いたしました。

店舗の出退店につきましては、引き続き関東・中部・関西・北陸エリアへの出店に注力することで、50店舗の新規出店と6店舗の閉店および52店舗の改装を実施いたしました。これにより、当第2四半期末における店舗数は1,435店舗(前期末比44店舗増)となりました。

以上の結果、売上高は3,149億55百万円(前年同期比4.0%増、121億89百万円増)、売上総利益は941億25百万円(同4.6%増、41億68百万円増)、販売費及び一般管理費は779億93百万円(同9.4%増、67億11百万円増)、営業利益は161億31百万円(同13.6%減、25億43百万円減)、経常利益は166億78百万円(同13.1%減、25億14百万円減)、これに伴い、親会社株主に帰属する四半期純利益は98億36百万円(同21.7%減、27億18百万円減)となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より表示方法の変更を行っており、前年同四半期比較については組替後の前第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の数値を用いて比較しております。表示方法の変更の内容については、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (追加情報)」に記載しております。

また、当社の事業セグメントは単一セグメントですので、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ160億55百万円減少し、3,298億78百万円(前連結会計年度末は3,459億33百万円)となりました。これは主に前連結会計年度末が金融機関の休業日であった影響等により現金及び預金が減少した一方で、売掛金、建物及び構築物が増加したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ227億59百万円減少し、1,225億44百万円(前連結会計年度末は1,453億4百万円)となりました。これは主に前連結会計年度末が金融機関の休業日であった影響等により買掛金が減少したことに加えて、未払法人税等、賞与引当金が減少したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ67億4百万円増加し、2,073億34百万円(前連結会計年度末は2,006億29百万円)となりました。これは主に利益剰余金が増加した一方で、その他有価証券評価差額金が減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は62.9%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末が金融機関の休業日であった影響等により、前連結会計年度末に比べて172億92百万円減少し、385億52百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、56億27百万円(前年同期は9億70百万円の収入)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益が147億29百万円、減価償却費が52億96百万円あった一方で、前連結会計年度末が金融機関の休業日であった影響等による仕入債務の減少が170億26百万円、法人税等の支払額が82億49百万円あったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、90億22百万円(同43.2%減、68億74百万円減)となりました。これは主に定期預金の払戻による収入が390億円、有価証券の償還による収入が150億円あった一方で、定期預金の預入による支出が390億円、有価証券の取得による支出が110億円、有形固定資産の取得による支出が105億6百万円、差入保証金の差入による支出が15億33百万円、無形固定資産の取得による支出が9億51百万円あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、26億42百万円(同0.5%増、12百万円増)となりました。これは主に配当金の支払額が24億72百万円あったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年6月29日の「2022年2月期 第1四半期決算短信」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	86,845	65,552
売掛金	31,655	34,559
有価証券	9,000	9,000
商品	71,165	71,554
その他	15,207	12,178
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	213,871	192,844
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	59,910	62,195
その他(純額)	22,298	24,324
有形固定資産合計	82,209	86,519
無形固定資産		
	5,326	5,638
投資その他の資産		
差入保証金	25,747	26,607
その他	18,816	18,296
貸倒引当金	△36	△28
投資その他の資産合計	44,527	44,876
固定資産合計	132,062	137,034
資産合計	345,933	329,878

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	91,061	74,041
未払法人税等	6,588	3,243
賞与引当金	2,599	1,449
その他	28,142	26,365
流動負債合計	128,391	105,099
固定負債		
退職給付に係る負債	7,304	7,662
資産除去債務	6,087	6,343
その他	3,520	3,439
固定負債合計	16,912	17,444
負債合計	145,304	122,544
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,434	15,434
資本剰余金	24,632	24,632
利益剰余金	167,983	175,347
自己株式	△9,298	△9,300
株主資本合計	198,751	206,113
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,208	1,514
退職給付に係る調整累計額	△329	△294
その他の包括利益累計額合計	1,878	1,220
純資産合計	200,629	207,334
負債純資産合計	345,933	329,878

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)
売上高	302,766	314,955
売上原価	212,808	220,829
売上総利益	89,957	94,125
販売費及び一般管理費	71,282	77,993
営業利益	18,675	16,131
営業外収益		
固定資産受贈益	245	185
受取賃貸料	885	918
その他	399	374
営業外収益合計	1,530	1,478
営業外費用		
賃貸収入原価	686	716
その他	326	214
営業外費用合計	1,012	930
経常利益	19,193	16,678
特別損失		
減損損失	434	1,949
特別損失合計	434	1,949
税金等調整前四半期純利益	18,758	14,729
法人税、住民税及び事業税	6,136	4,911
法人税等調整額	67	△18
法人税等合計	6,203	4,892
四半期純利益	12,555	9,836
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,555	9,836

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)
四半期純利益	12,555	9,836
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,347	△693
退職給付に係る調整額	4	35
その他の包括利益合計	1,352	△657
四半期包括利益	13,907	9,178
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,907	9,178

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	18,758	14,729
減価償却費	4,654	5,296
減損損失	434	1,949
賞与引当金の増減額(△は減少)	△559	△1,149
売上債権の増減額(△は増加)	△1,357	△2,904
たな卸資産の増減額(△は増加)	△4,312	△180
仕入債務の増減額(△は減少)	△12,086	△17,026
その他	1,549	1,906
小計	7,081	2,620
利息及び配当金の受取額	10	9
利息の支払額	△8	△8
法人税等の支払額	△6,111	△8,249
営業活動によるキャッシュ・フロー	970	△5,627
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△29,000	△39,000
定期預金の払戻による収入	26,000	39,000
有価証券の取得による支出	△17,000	△11,000
有価証券の償還による収入	17,000	15,000
有形固定資産の取得による支出	△9,839	△10,506
無形固定資産の取得による支出	△1,697	△951
差入保証金の差入による支出	△1,406	△1,533
その他	46	△30
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,896	△9,022
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△0	△1
配当金の支払額	△2,472	△2,472
その他	△157	△168
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,630	△2,642
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△17,555	△17,292
現金及び現金同等物の期首残高	56,347	55,845
現金及び現金同等物の四半期末残高	38,791	38,552

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(表示方法の変更)

(四半期連結損益計算書)

前第2四半期連結累計期間において、「営業外収益」の「その他」に含めて計上しておりました情報提供等に係る収益は、第1四半期連結会計期間より「売上高」に含めて計上する方法に変更いたしました。

この変更は、第1四半期連結会計期間より当社子会社にDX戦略本部を新設しその収益性を適切に管理するとともに、当社グループの物販及び処方箋調剤等において蓄積・統合されたデータを抽出・分析し、付加価値を付与して販売することで収益増加が見込めること、そして、さらにDX投資を推進することでデータを活用したサービス提供が増加し重要性が増す見込みであること等から、経営成績をより適切に表示するために行うものであります。この表示方法の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第2四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、「営業外収益」の「その他」に表示しておりました167百万円は、「売上高」167百万円として組替えを行っております。